

香華 前後篇 (1964)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 202分
初公開日 1964/05/24

【解説】

有吉佐和子の同名ベストセラー小説を、木下恵介が脚色し監督。明治から昭和までの六十年に及ぶ母と娘の壮大な物語で、乙羽信子と岡田茉莉子が共演した。

三歳で父親を亡くした朋子は、祖母つなに預けられた。母の郁代は高坂敬助の後妻となったが、つなが亡くなったため、朋子を引き取るようになった。しかし生活は貧しく、朋子は遊郭に売られた。朋子が十三歳になると、敬助に捨てられた郁代が花魁として遊郭に現れた。赤坂で水揚げされ一本立ちすることになった朋子は、士官学校の生徒である江崎と知り合い恋に落ちる。江崎に芸者をやめてほしいと言われた朋子は、自分を水揚げしてくれた伯爵の協力を得て、芸者の置屋を始めるのだった。

【クレジット】

監督 木下恵介
製作 白井昌夫
木下恵介
原作 有吉佐和子
脚本 木下恵介
撮影 楠田浩之
美術 伊藤憲朔
梅田千代夫
音楽 木下忠司
出演 岡田茉莉子
加藤剛
三木のり平
乙羽信子
岡田英次 Eiji Okada
柳永二郎
菅原文太